

給食だより

えがおのじかん



令和2年度12月号
丹波山村学校
給食センター
栄養教諭 小林



☆ 12月の給食目標 ☆

『健康にいい食事をしよう ～冬の食生活～』

冬に多い食中毒 ノロウイルス



早いもので、今年も残すところあと一か月となりました。吹く風は冷たく、寒さが身にしみる季節です。年末年始には行事がたくさんあるので、元気に楽しく過ごせるように、手洗い・うがいをしっかりと行い、体調管理には十分気をつけましょう。

食中毒は一年を通して発生し、冬は特にノロウイルスによる食中毒が多くなります。ノロウイルスは、カキなどの二枚貝が原因となるほか、調理をする人から食品を介して感染する場合も多く、感染を広げないためには、しっかりと予防する必要があります。食中毒予防の基本は、原因となる菌を「付けない・増やさない・やっつける」ですが、ウイルスの場合は食品中では増えませんので、「付けない・やっつける」に加え、「持ち込まない・広げない」ことも重要です。

きんろうかんしゃ び 勤労感謝の日

～ しょうたいきゅうしょく
招待給食 ～

例年、小学校では調理員さんや役場の方を招いて一緒に給食を食べていますが、今年度は残念ながら実施することができませんでした。感謝の気持ちを伝えるために、全校児童でメッセージを書き、調理員さんにプレゼントしました。

保健給食委員会の児童が代表して渡しました。



ありがとう!

きゅうしょく にかか 給食に関わる人々



給食は、食べ物を育てたり集めたりする人たちが、給食を作る調理員さん、配達する運転手さん、ほかにもたくさんの人たちのおかげで食べることができます。食事に限らず、私たちの生活は多くの人の働きがあって成り立っていることを忘れずに、感謝の気持ちをもって過ごしましょう。

かんせん 感染すると、どうなるの?

感染してから症状が出るまでは24～48時間。ヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛、微熱などを起こします。多くの場合は軽症で、感染しても症状が出ない場合もあります。健康な人は1～2日程度で回復しますが、子どもやお年寄りでは重症化することがあるので、注意が必要です。



かんせん 感染したら、どうすればよいの?

今のところ、ノロウイルスに対するワクチンや抗ウイルス剤はありません。脱水症状を起こさないよう、経口補水液などで水分補給をしっかりと行うことが大切です。市販の下痢止めの薬は回復を遅らせることがあるので、使用しないほうがよいでしょう。



きゅうしょく ようす 給食の様子

マスクの着用、
手洗いの徹底をして、
配膳を再開しました。



パーティションを使って、
食事をしています。

中学校では食べる向きに向かい合わないよう、座席の工夫をしています。

例年通りの給食の運営が難しいなかではありますが、小中それぞれ、感染症対策を徹底しながら、給食の時間を過ごしています。

